

# 誠美だより

2

2017/FEB  
誠美保育園

## スイーツの誘惑

穏やかな冬晴れが続いています。

おかげで、年度の終盤を迎えることと相まって、そこで、外遊びの充実ぶりを感ずる毎日です。

園内への開き戸の真正面にある飾り棚で練り広げられている「ケーキ屋さん」ごっこもそのひとつ。型抜きをした砂のケーキに、園内で摘んだ花や拾った枯葉などの自然物を飾り、たくさんのケーキが陳列されています。そこはちょうど、職員室の前ということもあり、私を含め、職員たちにとって、絶好の観察の場となっています。

ある朝、私が門扉を開くと、友だちになにやら話しかけながら、陳列したケーキの位置を調節していた女兒の姿。会話に夢中になりすぎたのたのか、思わずよろけてついた手は、不幸にも、まさにそのケーキの真上でした。

私もあっと息を飲み、泣いて悔しがるのかなと見守っていると、粉々になったケーキをしばらく見つめた彼女は、「あああ、やり直し。」と見事に私の予想を裏

切り、お盆を手に、砂場に駆け出してきました。

また別の日。職員室から、ケーキの棚を眺めながら興味深げに会話する、職員二人の声が聞こえました。どうしたのかと問うと、

「今、私と目が合った瞬間、○○ちゃん、ぼつが悪そうに、すうつとケーキ棚から離れていって…」

「確かに、型抜きした砂ケーキって、思わず舐めてみたくなるよね。」と何とはなしに応じる私に、

「私って意地悪なのか、並んでいるケーキを潰そうとしているように見えて…」  
「私よりもずつと、子どもたち一人ひとりの抱える思いを掴んでいる彼女の方が、きつと正しいのですが、」

「そうか、型抜きされた、あの滑らかな表面、思わず崩したくなるよね。水たまりに張った水とか、霜柱とか…」

こんな脳天気な奴に、付き合っていないかと思ったのか、「そういえば今年、霜柱を見ないですね。」といった内容へと会話は流れて行きました。

そして先日、他園の園長たちと語り合

う中で、「年長さんが撒いた種から出た芽を、年少の子が、面白そうに次々抜いちやうだよね。」と笑いながら、エビソードを紹介してくれた人がいました。

「だけど、年長さんはね、収穫する時も、実際に手をかけながら、同意を求めめるように、いちいち職員の眼を見て確認するんだよ。」

理由はなんであれ、他者の存在や眼差しを感じながら、自分の行動をコントロールしようとすることも、ひとつの成長の姿だよなど、あの飾り棚の一件を思い出しながら、聞いていました。すると、

「でもね。本当はそこ、子どもも自分が自己決定すべき場面だよね。保育者は、眼をそらさなくちゃ。」と続けました。

子どもが収穫する野菜なのに、保育者が、その良し悪しを安易に伝えることで、子ども自身で考えてみる機会を奪ってはいないか、判断を他者に依存するような、人の眼を気にして判断するような、そんな習慣を、子どもたちに植え付けてはいないか：そうした、大人に対する投げ掛けのように、私には思えました。

まだまだ経験の少ない子ども自身に、

判断や決定を委ねていくことは、数多くの失敗を見守っていくということですか。なかなか結果の出ないプロセスを、根気強く見つめていくことだと思おうのです。

もしあの時、あの子が飾り棚のケーキを潰してしまっていたとしたら、周囲も巻き込む騒動に発展していたのかもしれないが、それもまた、当事者たちの育ちの道りになっていったのかも：園内のあちらこちらで、そんな育ちの分岐点を越えながら、子どもたちはこの冬を過ごしています。

この飾り棚の周りで繰り広げられているケーキ屋さんごっこは、春に4・5歳児たちが始めたものですが、まず、拾い集めた自然物を使ったデコレーションが發展。お店の装飾、店周りの清掃、お買

い物ポイントの導入、クレジットカード利用が可能になるなど、実店舗さながらの道筋を辿っていました。

夏頃に、それが3歳児へと引き継がれたかと思うと、しばらくの閉店。そして12月のクリスマスシーズンに合わせた、突然のリニューアルオープンには唸りました。役割分担に看板、接客マニュアルを作り、ラジカセを持ち出しBGM。値札のほとんどが、なんと0円という、顧客満足度の高いお店に成長しています。(飾り棚横に、このプロセスの記録を掲示してあるので、ぜひご覧ください。)

子どもも大人も巻き込みながら、それぞれのドラマを散りばめながら、盛衰を繰り返しながら、長きに渡り流れてゆく：そんな活動もあるのです。

園長 折井誠司

カレンダー	
3 (金)	豆まき
7 (火)	発育測定 (012)
8 (水)	発育測定 (K)
13 (月)	防災訓練
16 (木)	乳児健診 誕生会
20 (月)	保育参観週間 ※24日まで
25 (土)	懇談会 (9時～)

●編集 誠美保育園  
●編集人 折井誠司  
●発行人 折井誠司  
●印刷所 誠美保育園  
●発行所 社会福祉法人 誠美福祉会  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2  
電話 042-6775-1551  
ファックス 042-6777-5643  
E-mail sebi@nokken.jp  
http://nokken.jp/